

新しい命がもう一つの命を救う

阪神・淡路大震災時に全国から駆け付けた医療ボランティアに感謝を表明するため、県が中心となって仕組みを整備し設立されたNPO法人兵庫さい帯血バンク。以来30年にわたり全国の血液難病患者を救ってきた活動について、理事長の後藤武さんに伺いました。(取材・文 本紙編集部)

●NPO法人兵庫さい帯血バンク
 ●078-221-0280
 ●078-221-0580



詳しくはこちら

—そもそも、さい帯血とは。
 赤ちゃんとお母さんをつなぐへその緒(さい帯)と胎盤に流れる血液で、出産時にしか採取できないものです。血液細胞を造り出す造血幹細胞が多く含まれ、白血病などの移植治療に使われています。採取時に提供者の身体的な負担は全くありません。
 —公的さい帯血バンクの仕組みは。
 県内23の提携産科施設で、本人から同意を得た上で、出産直後に採取したさい帯血を無償で提供してもらいます。回収後、移植のための品質基準をクリアしたものを凍結保存し、半年後に母子の健康

状態が確認できたら全国共通のデータベースに載せ、医師の依頼に応じて適合患者の元へ届けます。
 —現状と課題は。
 治療用なので、いかに安全で高品質なものを提供できるかが鍵を握っており、実際に登録されるのは採取数全体のわずか10%ほど。そのため、まず数量を集めることが重要ですが、少子化で減少が懸念されています。存在自体を知らない人も多いため、周囲に妊娠した人がいたらぜひ勧めてください。また、資材の価格高騰等で運営が厳しいため、寄付などで応援してもらえると大変うれしいです。

移植患者からのメッセージ

Message To Mama

急性骨髄性白血病と診断され、移植しか治療の方法がなかったのが、家族とは型が適合せず、不安な気持ちでした。適合するさい帯血が見つかったと聞いた時は、本当に嬉しかったです。お子様か大きくなられたら、お母さんが生まれさせてくれたおかげで命が助かった人かいるんだよ、と、どうかお伝え下さい。
 本当にありがとうございました。

From: Pen Name M-I

提供者からのメッセージ

私と子どもをつないでいたへその緒が、めぐりめぐって誰かの助けに
 なることをうれしく思うと同時に、子どもに対して誇りに思います。
 今回、私たちが提供させていただいた、さい帯血で誰かの病気が
 治るよう祈っています。

ペンネーム: R.S



待望の世界大会 挑戦者募集中

来年5月14日(金)に開幕する「ワールドマスターズゲームズ2027関西」の一般エントリー受け付けが、3月2日(日)に始まります。関西一円で35競技59種目が行われ、原則30歳以上であれば誰でも参加OK! 国内初開催となる世界最大級の生涯スポーツの祭典に出場して、忘れられない思い出をつくりましょう。
 (県スポーツ振興課)



詳しくはこちら
 ●県スポーツ振興課
 ●078-362-3788
 ●078-362-4022



王道メニューの生け造りや鯛めしから、鯛そうめんや宝楽焼きといった島の伝統料理、パスタやパーガーなどの個性派まで、多彩なグルメがそろっています。

3つの海峡に囲まれた淡路島の周辺海域は昔から鯛の好漁場で、現在も島内17の全漁業協同組合で漁が行われています。2021(令和3)年には島で水揚げされた天然真鯛を「淡路島えびす鯛」としてブランド化し、素材を生かしたバラエティー豊かな鯛料理を宿や飲食店約50カ所提供中。春先は体の色がピンクに染まることから「桜鯛」と呼ばれます。(食のブランド「淡路島」推進協議会)

●食のブランド「淡路島」推進協議会(洲本農林水産振興事務所) ●0799-26-2096 ●0799-22-1443

王道から個性派まで
どの鯛料理を食べたい?



詳しくはこちら